

苦しみの中の忍耐（新約聖書：第二テサロニケ人への手紙1章1～5節）

<https://www.youtube.com/watch?v=Zxpc1YDqK9U>

では、テサロニケ人への手紙第二1章です。今日の御言葉の箇所は1節から5節までです。まだそこをお開きでなければ、開いて下さい。開けられたなら、ご起立下さい。私が読みますので、ついてきてください。御無理なら、座ったままでも結構です。ところで、はっきりさせておきたいのですが...皆さんが背後にある理由を理解するために申し上げますが、神の御言葉を読む際に立ち上がることは、エズラ記から来ています。彼らが巻物（聖書）を読むとき、人々は、神の御言葉が読まれる時に立っていました。だから私たちはそうしています。あなたが疑問に思っていたら、それが背後にある理由です。それでは、1節です。

## テサロニケ人への手紙第二

**1パウロ、シルワノ、テモテから、私たちの父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたにありますように。**

これは、パウロの慣習的な挨拶で、彼の手紙の冒頭は、常にこれで始まります。

**2私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。**

**3兄弟たち。あなたがたについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません。それは当然のことです。あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたすべての間で、一人ひとりの互いに対する愛が増し加わっているからです。**

**4ですから私たち自身、神の諸教会の間で、あなたがたを誇りに思っています。あなたがたはあらゆる迫害と苦難に耐えながら、忍耐と信仰を保っています。**

**5それは、あなたがたを神の国にふさわしいものと認める、神の正しいさばきがあることの証拠です。あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。**

ご一緒に祈りましょう。私たちの理解に、神の祝福が得られるようお願いしましょう。主よ、あなたの御言葉に感謝します。今朝、私たちに与えられた聖書箇所を、ありがとうございます。5節ですが、しかし主よ、ここには沢山の教えがあります。私たちは聖霊に私たちの注意を引いていただき、保持していただかなければなりません。あなたが私たちに与えようとする如何なるものも見逃すことがありませんように。私たちは、自分の心が気ままに彷徨ってしまうことを望んでいません。他の事柄に囚われ、集中力を失いたくありません。主よ、私たちの心を全力であなたに向けますので、御言葉において、また御言葉を通して、私たちのいのちの中に、お語り下さい。イエスの御名によって祈ります。

アーメン、アーメン。

ご着席下さい。ありがとうございます。今日は、苦しみの中での忍耐についてお話ししたいと思います。具体的には、困難と逆境に直面した状況下で、突き進むことと、持ちこたえることに関して。今日の教えに向けて、心の準備をしていると、主は私に、力強い真理を思い出させてくださいました。それは、よく知られていることの一つです。それは新しい真理ではありません。しかし、思い出させてもらう必要のある真理です。それが先週、主が私のために、また、私と共にしてくださったことです。この強力な真理は、私たちが本当に思い出す必要のあるもので、私たち全員がクリスチャン生活の中で経験する試練に関連するものです。今日はこの時間で、クリスチャン生活における苦しみについての最も重要な2つの原則によって、私たちが皆、励まされることを願います。1つ目のものは、1節から3節までです。それは、忍耐を生み出すものは試練であるということです。ああ、そうでなかったらいいのに！と私は願います。試練のために必要な忍耐を生み出す別の方法や、他の何かがあったらいいのにと願いますが、問題は、実際に、その試練のための忍耐を生み出すのは、その試練なのです。回り道はありません。それ以外に道はありません。ここは、御言葉において、私たちがその背景についてもう少し知っておくとよい箇所の一つです。お付き合い下さるなら、私が空白の一部を埋めたいと思っています。パウロが最初にテサロニケ人に手紙を書いてから約1年が経っています。実際にそれは、彼が書いた最初の手紙だったと信じられています。テサロニケの、この教会宛のものでした。彼はテサロニケに戻る代わりに、手紙を書きました。彼は実際にその町から追い出されました。彼は、そこから去らざるを得ませんでした。ある人々

は、彼がそこに滞在したのは、多分たったの一ヶ月近くか、三週間ほどだっただろうと信じています。三回の安息日と、使徒の働きには書かれています。だから、彼はあまり長くそこにいませんでした。彼は、もっと長く滞在したかったのです。そして、この教会と、これらの新しい信者をもっと御言葉に根付かせたかったのです。しかし、できませんでした。彼は町を追い出されました。ですから彼は、この教会を恋しく思い、とても愛していました。彼は戻る事ができなかった。それで、彼らがどうしているかを知るためにテモテを派遣しました。そしてテモテが戻ってきて、パウロにこの良い報告をします。パウロ、彼らはとてもうまくやっていますよ。彼らは成長し、彼らは前進しています。彼らは信仰において成長しています。彼らはお互いを愛し合っています。彼らは本当にお互いを愛しています。彼らは希望を持っており、彼らはとても励まされています。これは良いニュースであり、パウロはただ喜んでいます。そこで彼は、テサロニケの教会に向けた最初の手紙を書きます。そして実際、彼らがテモテと一緒にパウロに送り返したいくつかの質問に答えています。それから、1年くらいが過ぎたところです。今、パウロはこの2番目の手紙を書いています。それは当然のことでした。彼の最初の手紙からの1年間に起こったことのために。何が起きたか知っていますか？ よく聞いてください。そこの誰かが、手紙を偽造しました。そして、それがパウロからのものであるかのように偽って回覧させました。そして、この手紙、この偽の手紙、フェイクニュース(虚偽報道)、偽の手紙、この偽造された手紙の中で、彼らは、テサロニケ人に、彼らがすでに患難期の中にいると告げていました。患難時代はすでに始まっていると...これが、彼らが大きな迫害、大きな苦しみ、厳しい逆境を経験していた理由である、と。そして、それは効果があったようです。私は考えます...たとえば、私は今朝、使徒の働き20章を読んでいました。パウロは、自分が去った後、羊のなりをした狼が入ってくることを知っている、と言っています。それは群れを荒らし回ります。彼らは入り込んで来ます。パウロは三年の間、昼も夜も、彼はただ、泣いて神に叫んだ、と言います。なぜならパウロは、自分が去った後敵が入ってくることを知っていたからです。そして、彼の働きと、教会の信者とを破壊しようとするであろうことを。それが、ここ、テサロニケで起こったようです。そして、非常に興味深いことですが、あなた方が、これに気づいたかどうかは分かりませんが、これを指摘する必要があります。それは、パウロが手紙の冒頭で言っていることを私たちが理解するのと密接に関係しています。二番目の手紙に目立って掛けているのは、彼らの希望への言及です。最初の手紙で、彼の言うことを聞いて下さい。第1章の2節、3節。

**「私たちは、あなたがたのことを覚えて祈るとき、あなたがたすべてについて、いつも神に感謝しています。私たちの父である神の御前に、あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、そして、一聞いて下さい—私たちの主イエス・キリストに対する望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしているからです。」**

おお、これは興味深いです。なぜなら、1年後の彼の二番目の手紙には、希望の言及がないからです。

どうしたのでしょうか？ たった1年の期間に、そこの新しい信者は、希望を失っていたようです。じきにイエス・キリストが戻って来られるということの。その希望が無いために、耐える力はありません。忍耐がありません。彼らは希望を失っていました。「私たちはすでに患難の中にいるんですよ。」「私たちは、すでにこの様々な迫害に苦しんでいるんですよ。」彼らは絶望的になっていました。では、質問です。

なぜでしょうか？ 答えは、敵です。「混乱」の作者が「混乱」を引き起こし、彼らからその希望を奪っていました。イエス・キリストの戻って来られるのが近いという祝福の望み、と言わせてもらいましょうか。最初の手紙は？ 彼らはとても興奮しています！パウロが書いています。第4章です。主は、一瞬のうちに来られる、と。ラッパが鳴ると、キリストにある死者がまず初めによみがえる、と。主は来られるのだ！その後、一年が過ぎ、サタンは、いつものように入り込んで来ます。そして、彼らからその祝福された希望を奪います。もし、あなた方が私に「サタンの最も成功した戦略の一つは何か」と尋ねるとしたら、これでなければ、なりません。つまり、私たちの希望を盗むことです。私たちの希望を盗む。覚えやすい聖句です。**ヨハネ10：10**イエスが語ったことを聞いて下さい。

### **ヨハネ10:10**

**盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。**

私はあえて、私たちの時代もあまり変わっていないと言わせてもらいます。敵は私たちを落胆させようとどれほど忙しくしていることか。そして、イエス・キリストがじきに戻って来られるという祝福された希望を、私たち

から盗みとろうと。これが、彼が、テサロニケ人に対して行った事です。敵は、今日の教会にもそれをやっています。私は、このことを何度も言いましたが、もう一度言います。どうか、聞き飽きたとは言わないで下さい。しかし、あなたが何を待ち望むことができるかを知っているときは、あなたがどんなことに直面しても、それを乗り越えやすくしてくれます。しかし、その望みが私から取り払われたら、もはや、私はそれを待ち望むことはできません。私には希望がありません。そして、私に希望がなくなった場合、忍耐することができません。おそらく、1950年代に行われたこの研究について聞いたことがあると思います。実際、非常に残酷ものです。私は、実験用ラット(ネズミ)のことがとても可愛そうに思います。ラット(ネズミ)になされる色々な実験... 50年代に遡りますが、彼らはこれらのネズミを獲り水の中に入れました。そして、ネズミはすべて溺死にました。彼らが解明しようとしていたのは、何匹かのネズミを他のネズミよりも長く泳がせるものは何か。後者のネズミはただ望みを捨てて、溺れてしまいました。彼らが発見したことは、彼らが水の中に手を入れて、溺れようとしていたネズミを引き上げ、そして、ネズミにしばらく回復の時を与え、一息つかせて、そして彼らに希望を与え、それから、そのネズミを水の中に戻すと、ネズミは泳ぎ続けました。彼らは耐え続けました。彼らは忍耐し続けました。なぜでしょうか？なぜなら、彼らには、その水から引き上げられ、溺れることはないという希望があったからです。この話はあなたを不快にさせますか？私はそうです。彼らは、私たち人間に関する研究をネズミを使ってやっています。そう感じるのは私だけですか？しかし、それは我々にも当てはまりませんか？それらのネズミに関しては？希望に関しては？それらのネズミは実際に、何日間も持ちこたえるんです。なぜでしょうか？なぜなら、彼らには希望があったからです。たぶんあなたは、このようなことを聞いたことがあるでしょう。あなたは、食料無しでは限られた日々しか生きられない。水無しでは、もっと短い。しかし、あなたは希望無しでは数秒も生きることができない。ですから、一緒に考えてみてください。理にかなっているのは、敵が盗み、殺し、そして破壊するために来るとしたら、ちなみに、その順番でやるのですが...敵が盗みたいと思うのは、私たちが持っている希望であると思いませんか？敵は、このテサロニケの教会では成功したようです。さてこれは、私たちを、4節、5節の二つ目の内容に導きます。試練は、わたしたちの信仰を清める、というものです。パウロがここで言っていることは、彼らの苦しみは、反対の証拠で、それは、私たちをふさわしい者とする上で、神のやり方が正しいことを証明しています。これを説明しましょう。このことは、非常に誤解されやすいものです。特に、私たちをふさわしい者とするに関しては。激しい試練と患難は、私たちを清め、神の王国のために私たちを整えつつ、私たちを証明します。その理由は、ふさわしい者とされるというのには、キリストのふさわしさが私たちのものと見なされる、とする司法判決の概念が伴うからです。それは、私たちの義ではありません。私たちをふさわしい者とするのは、キリストの転嫁された義なのです。だから、回覧されているこの偽の手紙は、基本的に彼らにこう言っています。

「苦しみ、迫害、試練、困難は、このこと(患難時代に入っていること)の証拠です。」そして、パウロは言っています。「いいえ、そうではありません。それとは逆に」それは、あなたが受け入れられ、ふさわしい者とされていることの証拠です。ローマ人への手紙、8章18節を開いてください。そこを開けている間、補助的に言わせてください。本当に苦勞し、落胆し、沈んでいる人たち、そして、諦め、絶望しかけている人に。その様な人は、時間をかけてローマ人への手紙8章を読む必要があります。8章です。それは、あなたの人生を変えるでしょう。なぜならそこには、ただ、あなたのための、神の愛について書かれているからです。神があなたのために持っている愛からあなたを切り離すものは、何もない、と。**「高さも、深さも、権力も、国家も、どんな被造物も、神があなたのために持っている愛から切り離すことは出来ません。」(ローマ人への手紙8章35節)**

神はあなたを愛しておられます。悲しいのは、我々が生きている今日、このように言っても、そこに、あまり重みが伴わないようであることです。こんな風に言ったら、どうでしょうか？神はあなたを好きなんですよ。「彼が？」そうですよ。良い表現が見つからないのですが、「愛」という言葉が、あまりにも損なわれている時代に生きているのは、悲しいことですね？「好き」という言葉の方に、もっと重みがあるというのは？「神は私のことを好きなんですか？」そうですよ。彼は本当にあなたに夢中です。

ええ、彼はソーシャルメディアであなたをフォローしています。彼はあなたの友人です。彼はあなたを愛しています。彼はあなたのことが好きです。あなたが何かを投稿するたびに、彼は「いいね」をします。彼はそれが好き

です。彼はあなたを好きなんです。何もそれを変えることはできません！なぜ私はそれを強調するのか？ なぜなら、それが敵がやろうとしていることではありませんか？ 彼は、逆境、試練、苦しみ、この人生の困難、この人生の試練を通して、敵は、私たちに対する神の愛について、私たちの心に疑念を起こさせようとしています。それは、こんな具合に展開します。「ああ、神はあなたに怒っています。」「神はあなたを罰しています。」と言うのは、サタンの唯一の目標は、主からあなたを遠ざけることだからです。どうやって？ あなたに対する神の愛に関して、疑問の種を植え付け始めることによってです。あなたは今日、非常に困難で痛みを伴う試練を経験してここにいるかもしれません。

そして、サタンはあなたに嘘をつき、あなたの心に考えを吹き込もうとしているかもしれません。彼はあなたの心を読むことはできません。しかし、彼は確かに、あなたの心の中に考えを入れることはできます。次のような思いです。「うわー、これは良くないよな?」「ええ、良くないですね。」「じゃあ、神は良くないですよ?」「さあ、どうかな。」「神は信用できないでしょ?」「神は本当にそう言ったのか?」

日の下には新しいものは一つもないんですから。(伝道者1:9)

彼は疑いと混乱を引き起こそうとします。彼はあなたが持っている希望を盗みたいと思っているからです。パウロがローマの教会に書いたことを聞いてください。

#### ローマ人への手紙8章18節

**今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないと思えます。**

要するに、ええ、私たちは今苦しんでいます。今は、試練と困難があります。しかし、それは比較する価値さえありません。それは同じレベルにさえありません。私たちが経験し、体験するこの人生の苦しみは、待っている栄光に比べれば、取るに足りないものです。

ペテロの手紙第一4章で最後とします。使徒ペテロは、第一の書簡、4章12節から13節に書いています。彼は言います。

#### ペテロの手紙第一4章12節、13節

**12愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思っははいけません。**

**13むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。**

あなたはこの激しい試練、イザヤが言う「苦難の炉の中」にいます。そして、疑いが入り込んできています。速やかに落胆に取って代われようとしています。それは速やかに絶望に取って代わられます。あなたは神が何をされているか、分かりませんか？ 神はそれを許しています。神が何の目的も無しに、私たちの人生に何かが起こるのを許されるとは、絶対に思わないで下さい。その唯一の目的は、私たちを整え、私たちを清め、私たちをご自分のそばに引き寄せ、完全にご自分に頼らせ、依存させることです。

祈りましょう。天の御父よ、感謝します。主よ、私は心に感じます。重荷にあえいでいる人たちがいます。意気消沈して、落胆して、恐怖の中にいます。主よ、あなただけにできるように、どうか彼らの心を励まし、強めてください。信仰は、あなたの御言葉を聞くことによって来ることを知っています。主よ、私は祈ります、決してむなしく戻ってくることはないあなたの御言葉が、人々を高め、励ますという求められる効果を発揮し、恐怖を信仰に置き換えますように。このことについては、今から話すつもりですが....主よ、感謝します。あなたの御言葉は真実です。そして、我々がこの人生で何を体験しようとも、あなたが最終決定権を持っておられます。主よ、ありがとうございます。イエスの御名によって、  
アーメン、アーメン。

---

メッセージbyJDFarag牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

CalvaryChapelKaneohe47-525KamehamehaHwy.Kaneohe,Hawaii筆記hukuinn7